

# 授業を豊かにする電子メディア メディア主導から、ヒト主導へ

日本教育メディア学会 (JAEMS) 年次大会 9月12、13日 新潟大学



自由研究 J 5 発表会場 (新潟大学教育学部講義棟 204 大講義室)

こんにちは、ミント音声教育研究所の田淵です。昨日の課題研究発表「授業を豊かにするメディア」理論編の延長戦で今日は教材の実演をご覧ください。

これからご紹介するのは字幕シンクロナイザー(特許)を使ったプレーヤーミントという動作ソフトで、音や映像に合わせて文字や絵を表示します。まず

## 実況中継

自由研究 J5-3

メディア主導から、ヒト主導へ、  
電子授業の新展開  
— 授業を豊かにする電子メディアとは

初秋の新潟大学で開催された日本教育メディア学会年次大会で、ミント音声教育研究所は2本の研究発表を行い、全国から参集した先生方に特許字幕シンクロナイザー・ミントによる電子授業の新たな展開について現状と展望を報告した。今号では紙面の都合で自由研究の一部を紹介する。

豊かな授業は  
使いこなせるメディアから



新潟大学正門



第15号

2009年9月18日(金)

発行所

ミント音声教育研究所

〒370-0013 群馬県  
高崎市萩原町 950-31  
Tel/Fax 027-353-1091

## 紙面案内

記事	メディア主導から、ヒト主	一面
連載	導へ……日本教育メディア学	二面
点描	会 (JAEMS) 年次大会報告	
お休み		
お休み		

## ユーザーサポート 027-353-1091

m-Boxed やプレーヤーミント利用方法のお尋ねや教材のお問い合わせは電話で受け付けています

## 音から入る フォニックス ライム

阿部フォード恵子先生監修

ディスクパッケージ (上下2巻)  
お手ごろ価格の 各 **6,300 円** (税込)



USB フラッシュメモリ版 m-Boxed ライト  
パワフルな **29,820 円** (税込)



コミュニケーション能力の土台を作る 電子黒板対応

## 絵で見る英語の素材集

レインボーカット (全7巻)  
お手ごろ価格の 各 **4,200 円** (税込)



レインボーセット 新製品  
7枚でお得な **24,800 円** (税込)

USB フラッシュメモリ版 m-Boxed ライト  
パワフルな **29,820 円** (税込)

はご覧ください。(フォニックスライムの一節を再生提示【下図】) これで授業をしていきますと、不思議なことに、小学3年生でも、英語の意味を聞く生徒は一人もいません。絵を



朗読にあわせて彩色された文字をフレーズごとに表示。意味は絵のハイライトでつかめるので、日本語の説明はいらない。

見て、わかっているんですね。  
さて、ここで最初に、電子教材を使った授業における問題点のなかで、人間の役割と見えていきたいと思います。  
←裏につづく

## 豊かなメディアなのに授業が豊かにならないパラドックス!?

メディアというものは、豊かであって、面白いな、興味があるな、好奇心をくすぐられるな、教養が高まるな、というものがなければ、お金を出して買っただけで、学校教育で使っていただけから、メディアというものは、そもそも豊かなんです。しかし、その豊かなメディアを使っているながら授業がうまくいかないというレポートが、特に小学校の現場からあがってきています。たとえば、

「テレビ番組エイゴリアンは楽しく見てはいるが、そこから授業へ落とすことにむずかしさを感じている。(東京板橋区)」

「英語活動を始めた時はDVDビデオとALTによる授業として行なっていた。しかしうまく行かず、単に英語が話せるだけのネイティブと、音声や映像が出るだけの電子教材では限界がある。(東京中野区)」

豊かなメディアなのに授業が豊かにならないパラドックスはどうしてでしょう？

### 電子メディアでの人の役割を見直す

ですから、それを、このクラスの生徒に合うように繰り返したり順番を変えたりという工夫をして見聞きさせる。こうして、提示する情報に重みを加えて渡していく——この人の役割と言うものが重要なんです。授業を豊かにするのはメディアの豊かさだけではなくて、教師の豊かさがあることなのです。

メディアを見聞きしているうちは面白いし、引き付けられる。しかしメディアは既製品です。万人のためのもので、そのままだ、このクラスの子どもたちに合うことではないですね。

生徒には今何が必要なのか、そしてそれを受け止めてやってくれる使えるメディアでないかとだめだと考えています。「授業に落とせない」からです。そこで二つ目の問題提起ですが、じゃあ、使えるメディアとは何か。使いこなせるためのメディアの条件とは何かを考えて見ましょう。



### 使えるメディアの条件は 提示、定着、活動の三拍子

授業のはじめは、生徒に対しての初情報、新規情報、これを提示する。プレゼンテーションです。「こんなものを使うよ！見てねー！聞いてねー！」となり

ますね。そして次にポテンシャルを高めるために定着させていきます。覚える、記憶に残して、使えるように準備して、さあいよいよアクティビティです。

だいたい、こう言う流れで授業は展開されていきます。「プレゼンテーション。ポテンシャルを高めて、アクティビティへ」と言う形になります。この3つの過程をうまくやっていかなければ、授業がうまく進んでいないと言っているわけですね。教師は受けるわけ

ションのところはいいのだけれども、これを授業にどう落とししていくのか、定着から活動への流れのところは問題になるわけです。そこで「プレゼンテーション。ポテンシャルを高めて、アクティビティへ」と言う流れを、主導権を人が持つてやるためのソフト、プレイヤーミントを紹介したいと思います。(この後、カルタ取りや神経衰弱などの電子黒板を使ったゲーム感覚の定着活動が紹介された。)

## 新製品 字幕力

ミント名作映画劇場 映画で英会話

- ・ピンポイントでお好みシーンを反復再生
- ・日英字幕同時表示、一覧表示にも対応
- ・物語に沿ってまるごと演習聞き取り、語順整序、書き取り
- ・欲しい表現がすぐに見つかるデータベース検索
- ・インストール不要、差し込んですぐに使える



親指サイズのUSBメモリ版 m-Boxed ライト パワフルな 5,880円(税込)

字幕力 ラインアップ



詳しくはこちらから ⇒

字幕力



## お知らせ

フォニックスライムによる電子授業を始めて三年になるマイク先生に、いろいろ話をうかがった。

- ▼英語がペラペラなのになぜ電子教材？
- ▼従来のフォニックスとはどこが違う？
- ▼子どもたちの発音はどう変わった？
- ▼文字の扱いは？
- ▼など話題満載。

マイク先生との対談 ネット連載を開始

音とリズムから入るフォニックスライム —マイク先生と435人の子どもたち



詳しくはこちらから ⇒

ミント435

